



顧客ロケーション
フランス、パリ

業界
電話通信

プラットフォーム
Microsoft Office SharePoint
Server 2007
SharePoint Server 2010

- クリティカル ニーズ
- SharePoint 上の利用状況やコンテンツを把握するためのカスタム可能なレポート
 - 効率的かつ環境全体に適用可能な SharePoint 構成およびセキュリティ権限の管理
 - 定期的な Web フロントエンドの自動同期
 - 削除されてしまったアイテムの迅速かつ完全な復旧

AvePoint ソリューション
DocAve 監査マネージャー
DocAve コンテンツ マネージャー
DocAve 展開マネージャー
DocAve 管理センター
DocAve バックアップ&リカバリー

**“DocAve は私たちの想像以上に
完全なソリューションでした。
いくつもの便利な機能が
1つのツールとして
まとまっているのです”**

- Eric Delouche
SFR SharePoint 管理者

導入事例:

SFR、SharePoint 管理におけるコンプライアンス目標、
全社展開の管理、コンテンツの迅速な復旧を
DocAve® によって達成

ハイライト

- SharePoint 利用状況やコンテンツ状況を柔軟にレポート化し、コンプライアンス目標を達成
- 700 以上のサイトに対し、構成やセキュリティ権限の変更を一括で変更
- 4 つの Web フロントエンド間で自動同期を設定、SharePoint の理想的な使用を実現
- 誤って削除してしまった SharePoint ドキュメントを、通常 2 日かかるところ 2 時間で復旧
- 扱いやすい機能と権限設定により、特定のサイト コレクション内コンテンツがエンドユーザーにも管理可能に

顧客紹介

SFR はフランスに拠点を置く 1987 年設立の携帯電話会社です。携帯電話サービスや携帯マルチメディア サービスだけでなく、個人・法人を対象にデータ通信サービスも提供しています。また有線電話通信事業にも携わっており、音声・データ通信やブロードバンド インターネット サービスも展開しています。現在は Vivendi グループの一員として営業しています。

挑戦

フランス全土で 2000 万人以上の顧客を抱える SFR では、Microsoft Office SharePoint Server (MOSS) 2007 を使用しています。MOSS は導入後ただちに活用されはじめ、すぐに組織内の重要なツールとなりました。社内イントラネットは SharePoint 上に構築され、エンドユーザーはここで社内のあらゆるコンテンツを管理すると同時に、外部ユーザーに対するコンテンツ共有のプラットフォームとしても使用しています。この環境内では、社内文書フォームやワークフローに至る様々な場面での使用を想定し、30 ものアプリケーションが構成されています。



現在 SFR の SharePoint 環境は 2 つの独立したサーバー ファームから成っており、15000 人のエンドユーザーをサポートしています。一つ目のファームでは MOSS 2007 を使用しており、Web フロントエンド サーバー 4 台、インデックス サーバー 1 台、SQL サーバー 3 台で構成されています。二つ目のファームは SharePoint 2010 を中心に、Web フロントエンド 2 台、アプリケーション サーバー 2 台、SQL サーバー 3 台という構成となっています。特に二つ目のファームは個人サイトのソーシャル機能をホストするディレクトリとしても使用されています。

しかし長年にわたって SharePoint の管理に携わってきた管理者は、プラットフォームの既定機能に限界があることに気づいていました。まず、例えばコンテンツがいつ誰に作成されたのか、あるいは誰がいつ閲覧したか、バージョンや名前などはどのように編集されたのか、そしていつ誰によって削除されたのか、といった情報を簡単に収集する方法は、SharePoint では提供していません。情報部署では監査資料を定期的に作成する必要があるため、このような詳細な情報が求められるのです。SharePoint の既定機能ではサイト コレクションを跨いだ監査やレポート作成はできないため、必要な情報を集めるのは非常に大変な作業でした。

また、SharePoint では複数のサイトやサイト コレクションで同時に変更を適用するという機能がありません。700 ものサイトを持っている SFR の環境では変更を 1 つずつ反映させることとなり、途方もない時間と労力がかかってしまいます。

さらに、SharePoint ではアイテムのリストアが簡単にできないという難点もありました。SharePoint 既定機能ではアイテムを個別にリストアすることができないため、エンドユーザーが使用していたアイテム 1 つをリストアする際はデータベース全体を丸ごと復旧させる必要があったのです。このプロセスには 2 日間という膨大な時間を費やす必要があります。

SharePoint 展開におけるこのような問題を重く見た SFR は、やがてサードパーティー ソリューションの検討を開始します。

AvePoint のソリューション

いくつかのソリューションを試した SFR では、最終的に AvePoint の DocAve ソフトウェア プラットフォームの導入を決定しました。DocAve は独立して購入可能な 30 以上のモジュールと、それらを統一してブラウザ ベースで管理することのできるインターフェイスから成っています。

SFR SharePoint 管理者の Eric Delouche 氏は語ります。「DocAve は私たちの想像以上に完全なソリューションでした。いくつもの便利な機能が 1 つのツールとしてまとまっているのです」

「様々な用途に合わせた SharePoint の活用例は順調に増加しており、AvePoint のようなパートナーとの共存関係によって、企業レベルのニーズや具体的な目的に合わせた使用が実現できるようになります」Microsoft 社 SharePoint マーケティング プロダクト マネージャーの Na-Young Kwon 氏は語ります。「特に重要なのは AvePoint が世界中で展開しているグローバル組織だということです。クライアントに対する迅速な対応が可能になるからです。特にフランスのクライアントと長期的な関係を築こうとしている我々にとって、フランスにも進出している AvePoint の存在がビジネスのカギとなることは間違いないでしょう」

AvePoint のグローバル技術チームの助けによって、Delouche 氏は直ちに DocAve を自社の環境へ導入しました。その中でも DocAve 監査マネージャーの活用により、SFR では SharePoint 環境でのユーザーの使用履歴やセキュリティの変更、クエリの検索などを、記録、追跡、レポート化することができるようになったのです。「いつ誰がどのコンテンツにアクセスしたかの情報や、プラットフォーム上でエンドユーザーの使用をトラックした結果などをレポートに起こすことができるようになったのです。DocAve を導入したことで定期的なコンプライアンス目標をクリアできるようになりました」彼は話します。

また SFR では、DocAve 管理センターを使用して社内 SharePoint 全範囲を管理することが可能となり、表示や検索、管理、あるいは全体の設定や構成、セキュリティのレポート化などを実現しました。この機能では構成やセキュリティなどを Web アプリケーションやサイト、フォルダー、リストなどに対して一括で編集することができます。「DocAveのおかげで、権限や構成などのアップデートを複数のサイトに一括展開できるようになりました。これまで既定機能を使って 700 サイトに手動で設定をおこなっていた手間ひまを考えると、驚くほどの時間が節約できていると実感しています」Delouche 氏は語ります。

さらに、これまでどうしてもできなかった Web フロントエンド間の同期が、DocAve 展開マネージャーを使用することで実現することができたのです。DocAve では、SharePoint ソリューションやカスタム、Web フロントエンド エlement の変更管理など、SharePoint 展開において必要となるカスタマイズ プロセスを単純化、自動化することができます。「私たちは DocAve を使うことで、権限のインストールやアップデートなどの変更を複数のサイトで一度に設定することができるようになりました。これは私たちの業務にとって大きなことなのです」



アイテムのリストア作業で抱えていた問題は、DocAve バックアップ&リカバリー for SharePoint によって解決しました。素早く柔軟、かつインテリジェントなバックアップ ソリューションを実現するだけでなく、DocAve のリストア コントローラーではアイテム レベルの最小単位バックアップを時系列に沿って実行、ドキュメントやサイト、サブサイトを迅速に復旧します。「DocAve を使用すると、今まで 2 日もかかっていたドキュメントの復旧がわずか 2 時間で行うことができます。おかげでエンドユーザーにとっては業務への影響を最小限に留めることができるだけでなく、さらに高レベルの展開タスクに充てる時間が多く取れるようになったのです」Delouche 氏は語ります。

DocAve 導入の結果、SFR ではこれまでの問題を解決することができただけでなく、SharePoint 内の特定のサイト コレクション上で管理タスクをエンドユーザーに割り当てるといった新しい試みを始めました。DocAve コンテンツ マネージャーではブラウザベースの中央型インターフェイスとデュアル フレーム レイアウトを採用、特定のユーザーに様々な役割を設定し、SharePoint コンテンツ管理の権限を与えるという機能を提供します。これによりコンテンツの対象元と対象先を簡単に設定することができるようになり、人為的ミスの削減と管理者の負担軽減を実現します。

最終結果

SFR にとって SharePoint は日常業務を支える重要なツールでしたが、既定機能のみの使用では様々な問題があることもまた事実でした。DocAve を導入したことによってこのような問題は全て解決することができただけでなく、SharePoint の社内展開のシンプルな管理をより促進することが可能となったのです。

SFR では近い将来、更なる DocAve 機能の導入を検討しています。「DocAve は様々なソリューションを統合したプラットフォームです。使用環境の展開をさらに進めるべく、私たちは他の様々な機能を使用すると同時に、現在も使っている機能のさらなる活用も視野に入れていきます」Delouche 氏は語ります。「例えば DocAve 既定の最小単位バックアップに加えて、バックアップ プラン機能を私たちのグローバル SharePoint 環境に導入することで、SharePoint データのあらゆるレベルでの保護を実現することができるようになることでしょう」

AvePoint について

AvePoint は米国を拠点とするソフトウェア界をリードするテクノロジー企業です。AvePoint 社は2001年の設立以来、Microsoft SharePoint におけるグローバルマーケットリーダーとして、一貫したSharePoint ライフサイクル管理へのソリューションを提供し続けています。世界最大級の SharePoint 専門研究開発チームを有する AvePoint は、大企業、中小企業、官公庁の SharePoint 環境が抱える要求それぞれに適した、強力かつ柔軟なインフラ管理ソリューションを提供します。数々の賞を受賞している DocAve は AvePoint が提供するソフトウェア プラットフォームです。業界基準のスケラビリティと全体性を併せ持つ本製品は SharePoint に対応する真の統合ソフトウェアとして、バックアップ・リカバリー、管理、レプリケーション、移行、アーカイブ、展開管理、レポート、ストレージ最適化、コンテンツ ライフサイクル管理におけるソリューションを実現します。

本社および技術センターをニュージャージー州ジャージーシティに置き、米国完全所有の営業オフィスおよび技術センターは米国をはじめカナダ、オーストラリア、イギリス、ドイツ、日本、シンガポール、中国に及びます。AvePoint が世界中に抱えるグローバルチームは提携パートナーと広範なネットワークを形成し、多くの Fortune-500 企業や政府機関を含め 8,000 を超える企業クライアントに対して大切な SharePoint 環境の保護、管理、ミシジョン最適化へのソリューションを提案しています。AvePoint はマイクロソフト認定ゴールドパートナーおよび GSA プロバイダーです。

AvePoint Japan 株式会社

〒108-0075

東京都港区港南2丁目4-15

品川サンケイビル2階

03-5783-8631 www.avepoint.co.jp